

# 第3期富山県食育推進計画の進捗状況の概要 ～県民が生涯にわたり健康で豊かな生活を送る～

【これまでの経過】

- H17.6 食育基本法制定
- H17.9 富山県食育推進会議  
(全国に先駆けて条例で設置、会長：知事)
- H18～H22年度 富山県食育推進計画（第1期）
- H24～H28年度 富山県食育推進計画（第2期）
- H29～R3年度 富山県食育推進計画（第3期）

計画推進の視点

ライフステージに応じた食育

健康寿命の延伸に向けた食育

食の循環や環境を意識した食育

重点的な取組み

子ども・若者世代をターゲットとした取組み

食育を理解し実践につながる取組み

推進施策	令和元年度の実績の概要	目標指標の状況	策定時 〔2016 H28〕	前年度 〔2018 H30〕	現状 〔2019 R1〕	目標 〔2021 R3〕
<b>I 富山の「食」に着目した食育の推進</b>						
<b>1 食育県民運動の展開</b>						
◇食育推進運動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>とやま食育推進フォーラムを開催（11月、参加者約100名）</li> <li>富山型食生活モデルメニューや富山の郷土料理を、食育リーダー等の活動や各種イベントを通じて普及・PR</li> <li>「栄養の日(8/4)・栄養週間(8/1-8/7)」を中心として栄養バランスの良い食生活を普及啓発</li> <li>地域食育推進体制強化事業の推進：各厚生センターによる関連教材の貸出し（44回）、出前イベント（6回）、食育連絡会の実施（3回）、研修会（1回）</li> <li>食育リーダー（栄養士等48人・団体が登録）の研修（2回）及び地域の講演会・研修会に派遣（88回）</li> <li>マスメディアを活用した富山県食育推進計画の普及・啓発</li> </ul>	○「食育」に関心がある県民（成人）	91.2%	90.5%	<b>92.0%</b>	95%以上
◇食育推進体制の充実		○カロリーやバランスを考慮して食事をする県民（成人）	54.6%	60.1%	<b>61.4%</b>	60%以上
		○富山型食生活を実践している県民（成人）	93.9%	} 県民健康栄養調査 (概ね5年ごとに実施)		100%
		・ご飯を1日に1回以上食べる	26.7%			50%以上
		・野菜を1日に350g（小鉢5皿程度）取る	68.4%			80%以上
		・魚介類を1日に1回以上取る				
<b>2 地産地消の推進や生産者と消費者の交流</b>						
◇生産・供給体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地場農産物の生産拡大支援と、HP等での直売所・インショップの紹介</li> <li>「とやまの旬の応援団」の募集・登録（R1.3現在：5,907個人・団体）・活動支援</li> <li>県産品の優先選択につながる「県産品購入ポイント制度」実施（応募数22,214件）</li> <li>「農村女性スキルアップ講座」「農村女性起業発展支援事業」等により、女性起業活動組織を育成（女性起業件数186）</li> <li>「越中とやま食の王国フェスタ」で富山の食材や越中料理を紹介（秋の陣：31,000人、冬の陣：219人参加）</li> <li>子どもや地域住民を対象とした農林漁業体験や地場産食材を活用した料理教室の開催（5市町村で計28回、参加者1,261人）</li> <li>水産業への理解醸成に向けた高校生等への魚食セミナーの開催（5回）、県内小学5年生への副読本の配布、学校給食への魚の提供（23万8千食）</li> </ul>	○県産食材（野菜・いも類）産出額	64億円	②962億円	<b>③61億円</b>	79億円以上
◇新たな県産品の活用		○直売所・インショップ販売額	35.1億円	35.5億円	<b>35.3億円</b>	45億円以上
◇生産者と消費者の交流促進		○「地産地消『とやまの旬』応援団」登録数	4,458	5,431	<b>5,907</b>	6,500以上
		○農林漁業体験者数	58,877人	②67,003人	<b>③68,199人</b>	64,500人以上
<b>3 魅力ある食文化の継承・創造</b>						
◇富山の伝統的な食文化の伝承	<ul style="list-style-type: none"> <li>「とやま食の匠」の登録（164個人・団体：特産の匠68、伝承の匠53、創作の匠43）</li> <li>「三世代ふれあいクッキングセミナー」を開催（72回実施、2,367人参加）</li> <li>富山県ふるさと認証食品の認証とPR（R元年度新規認証：15商品、累計認証数（R2.3現在）：39品目・348商品）</li> <li>地域の農林水産物を活用した加工・直売等の6次産業化の取組みを支援（6件）</li> </ul>	○「とやま食の匠」派遣回数	40回	42回	<b>30回</b>	60回以上
◇新たな食文化の創造		○「富山県ふるさと認証食品」数	313商品	333商品	<b>348商品</b>	350商品以上

推進施策	令和元年度の実績の概要	目標指標の状況	策定時 (2016 H28)	前年度 (2018 H30)	現状 (2019 R1)	目標 (2021 R3)
<b>Ⅱ ライフステージに応じた健康増進につながる食育の推進</b>						
<b>1 子どもに対する食育の推進</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇望ましい食習慣の形成に向けた普及啓発</li> <li>◇家庭で楽しい食生活の実践と支援</li> <li>◇家庭・地域等と連携した食育の推進</li> <li>◇豊かな農林水産資源を生かした食の体験、学校給食の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食育ランチマット」やカレンダーの活用により、朝ごはんの大切さを啓発</li> <li>・「とやま子育て応援団」を活用し（協賛店舗数2,376）、家族そろった食事等を推進</li> <li>・「家庭教育かわら版」による、家族そろっての健全な食生活実現の普及啓発（年少児から小学2年生までの子どもの保護者に5万部配布）</li> <li>・小・中学校等に講師を派遣し、子育て世代への食育講座を開催</li> <li>・栄養教諭を増員し（R1：42人）、農業体験や生産者との会食、学校給食への県産食材の活用拡大に向けた体制の整備、教科等や給食時間における指導の充実等により、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施</li> <li>・地場産野菜・果実を活用した特別給食を実施（103品目、263校）</li> <li>・富山県の農業と食文化等を紹介する小学4年生向けの副読本の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝食を欠食する子どもの割合 (小学校5年生) (中学校2年生)</li> <li>○学校給食における県産食材の利用量※ ※野菜、果実、きのこ・山菜類等の集計</li> </ul>	0.8% 2.0%	0.8% 2.1%	<b>0.9%</b> <b>2.2%</b>	限りなくゼロ に近づける  700 t 以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇豊かな農林水産資源を生かした食の体験、学校給食の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校等に講師を派遣し、子育て世代への食育講座を開催</li> <li>・栄養教諭を増員し（R1：42人）、農業体験や生産者との会食、学校給食への県産食材の活用拡大に向けた体制の整備、教科等や給食時間における指導の充実等により、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施</li> <li>・地場産野菜・果実を活用した特別給食を実施（103品目、263校）</li> <li>・富山県の農業と食文化等を紹介する小学4年生向けの副読本の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝食を欠食する若者の割合 (20歳代) (30歳代)</li> <li>○家族で朝食また夕食を取る県民 (成人)</li> <li>○脂肪から摂取するエネルギー比率 (20歳代) (30歳代)</li> <li>○食塩の1日当たりの摂取量 (男性) (女性)</li> </ul>	11.4% 3.8%	}	}	}
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇健全な食生活や生活習慣の確立に向けた食育の推進</li> <li>◇健康寿命延伸に向けた食育の推進</li> <li>◇豊かな農林水産資源を生かした食の体験の推進〔再掲〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者世代を対象とした食育実践活動の実施（食育講座や調理体験等の開催 6回、115人参加）</li> <li>・若者世代の食育への意識を高める「とやま食育アプリ・アイデアコンテスト」を開催（応募数27点）</li> <li>・食生活改善チェックシートを活用し、食育リーダー等による普及やイベントで啓発</li> <li>・「野菜をもう一皿！食べようキャンペーン」の実施（小売店等の協力による普及啓発）（協力店668店）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝食を欠食する若者の割合 (20歳代) (30歳代)</li> <li>○家族で朝食また夕食を取る県民 (成人)</li> <li>○脂肪から摂取するエネルギー比率 (20歳代) (30歳代)</li> <li>○食塩の1日当たりの摂取量 (男性) (女性)</li> </ul>	91.8%	91.0%	<b>91.8%</b>	5%以下 〃 95%以上
<b>2 若者世代に対する食育の推進</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇健康寿命延伸に向けた食育の推進</li> <li>◇地域全体で食育に取り組む体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者世代を対象とした食育実践活動の実施（食育講座や調理体験等の開催 6回、115人参加）</li> <li>・若者世代の食育への意識を高める「とやま食育アプリ・アイデアコンテスト」を開催（応募数27点）</li> <li>・食生活改善チェックシートを活用し、食育リーダー等による普及やイベントで啓発</li> <li>・「野菜をもう一皿！食べようキャンペーン」の実施（小売店等の協力による普及啓発）（協力店668店）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝食を欠食する若者の割合 (20歳代) (30歳代)</li> <li>○家族で朝食また夕食を取る県民 (成人)</li> <li>○脂肪から摂取するエネルギー比率 (20歳代) (30歳代)</li> <li>○食塩の1日当たりの摂取量 (男性) (女性)</li> </ul>	28.3% 27.1%	}	}	}
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇健康寿命延伸に向けた食育の推進</li> <li>◇地域全体で食育に取り組む体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスアップ健康プロジェクトの実施：民間の社員食堂等と連携し、メニュー改善に向けた取組みを実施</li> <li>・野菜たっぷり、減塩、シニア向けのメニューを提供する「健康寿命日本一応援店」の募集（225店舗）</li> <li>・高齢者を対象とした、食と健康や正しい食習慣に関する食育講座に講師を派遣</li> <li>・地域住民対象の「元気とやま食生活改善クッキング」（31回、930人）を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝食を欠食する若者の割合 (20歳代) (30歳代)</li> <li>○家族で朝食また夕食を取る県民 (成人)</li> <li>○脂肪から摂取するエネルギー比率 (20歳代) (30歳代)</li> <li>○食塩の1日当たりの摂取量 (男性) (女性)</li> </ul>	11.0g 9.1g	}	}	}
<b>3 働き盛り世代・高齢者に対する食育の推進</b>						
<b>Ⅲ 食の安全・安心や食の循環を意識した食育の推進</b>						
<b>1 食の安全確保の推進</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇食に関する情報の理解促進</li> <li>◇安全な農林水産物等の供給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品安全フォーラムの開催（テーマ：「食品安全 最近の話題から」 参加者138名）</li> <li>・「食の王国フェスタ」に食品安全関連ブースを出展、「知ろう！学ぼう！『とやまパーク』トークセッション」の開催</li> <li>・食の安全・安心ホームページの運営（食品安全や表示等に関する情報提供）</li> <li>・食品表示講習会の開催（4回）、研修会等への講師派遣等により、食品関連事業者等への適正な食品表示を指導</li> <li>・「食品表示ウォッチャー」による食品表示実態調査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品表示が適正な店舗</li> </ul>	97.8%	95.1%	<b>96.7%</b>	100%
<b>2 食の循環や環境を意識した食育の推進</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇食品ロス等の発生を減らす食生活の推進</li> <li>◇自然環境や食べ物を大切にす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商慣習見直しフォーラム（参加者 約180名）、啓発イベントの開催（参加者 約150名）</li> <li>・「食べきり3015運動」協力店及び「食べきりサイズメニュー」導入店の募集</li> <li>・食品ロスモニター調査の実施（611世帯参加）、手付かず食品を活用した料理写真の募集・紹介（133名応募）</li> <li>・食品ロス削減のための啓発用テレビCMの制作・放映（放映期間：10月30日～3月）</li> <li>・小学校での食品ロス学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合</li> </ul>	62.9%	70.1%	<b>80.9%</b>	80%以上